

企001	項目名	マイナポイント事業費	新規事業																				
予算書項目	社会保障番号制度運営費	ページ	161																				
年度	R5	所 属 名	企画推進部 政策企画課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】地方創生・デジタル化推進室 0857-30-8014																						
款 総務費	【11次総の施策体系】2405																						
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 国は「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」（令和3年11月19日閣議決定）により実施している「マイナポイント第2弾」について、窓口の混雑緩和による新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、ポイント付与の対象となるカードの申請期限を、令和4年12月末から令和5年2月末まで2ヶ月延長した。これに伴い、マイナポイントの申込期限も令和5年2月末から延長予定となっている。																						
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 マイナポイントの活用により消費の活性化、マイナンバーカードの普及促進、官民キャッシュレス決済基盤の構築を推進する。																						
(単位:千円)	【事業の内容】 市役所本庁舎とイオンモール鳥取北に設置している専用窓口と各総合支所窓口で実施しているマイナポイント申込支援を、令和5年9月末までの予定で継続し、ポイント付与を希望する市民の皆様の申込支援を実施する。																						
前年度当初予算額	7,539	【マイナポイント申込支援】 市役所本庁舎 業務委託により専用窓口設置 イオンモール鳥取北 // 各総合支所 市民福祉課窓口で対応																					
本年度要求額	38,105	【事業の実績】																					
総務部長段階査定額	38,105	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[決算額]</td> <td>[申込件数]</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,735千円</td> <td>4,944件</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>5,249千円</td> <td>4,791件</td> </tr> <tr> <td>令和4年度(見込)</td> <td>28,545千円</td> <td>20,104件 ※4月~12月実績</td> </tr> </table>			[決算額]	[申込件数]	令和2年度	2,735千円	4,944件	令和3年度	5,249千円	4,791件	令和4年度(見込)	28,545千円	20,104件 ※4月~12月実績								
	[決算額]	[申込件数]																					
令和2年度	2,735千円	4,944件																					
令和3年度	5,249千円	4,791件																					
令和4年度(見込)	28,545千円	20,104件 ※4月~12月実績																					
市長段階査定額	38,105	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
区分	本年度予算額	備考欄																					
財源内訳	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>38,105</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>38,105</td> </tr> </table>	国・県支出金	38,105	地方債	0	その他	0	一般財源	0	計	38,105												
国・県支出金	38,105																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	0																						
計	38,105																						

企002	項目名	若者定住促進事業費	新規事業																				
予算書項目	総合企画費	ページ	165																				
年度	R5	所 属 名	企画推進部 政策企画課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】広域連携係 0857-30-8013																						
款 総務費	【11次総の施策体系】1101(実施計画関連事業)																						
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口減少・少子高齢化が進行する中、本市をはじめ麒麟のまち圏域が連携し、将来にわたって継続・発展していくため、若者定住につながる施策に取り組むことが求められている。現在、「すごい!鳥取市婚活サポートセンター」の対象者を麒麟のまち圏域に拡大し「麒麟のまち婚活サポートセンター」として運営している。																						
目 企画費	【事業の目的及び効果】 結婚を希望する男女の「婚活」を支援することにより、結婚による若者の定住を促進し、圏域の人口増加を図る。																						
(単位:千円)	【事業の内容】 ・婚活イベントの開催 ・会員対象のサークル(仮称)の立ち上げ ・カップル対象イベントの開催 ・スキルアップのための各種セミナーの開催 ・出会いから結婚までのサポート																						
前年度当初予算額	9,461	【事業の実績】																					
本年度要求額	9,711	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>事業費</td> <td>登録会員数</td> <td>カップル 成立数</td> <td>成婚者数 (うち会員同士)</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>7,524千円</td> <td>1,908人</td> <td>94組</td> <td>44人(8組)</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>9,461千円</td> <td>1,984人</td> <td>95組</td> <td>44人(7組)</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>9,461千円(見込)</td> <td>2,118人</td> <td>58組</td> <td>21人(4組)</td> </tr> </table>			事業費	登録会員数	カップル 成立数	成婚者数 (うち会員同士)	令和2年度	7,524千円	1,908人	94組	44人(8組)	令和3年度	9,461千円	1,984人	95組	44人(7組)	令和4年度	9,461千円(見込)	2,118人	58組	21人(4組)
	事業費	登録会員数	カップル 成立数	成婚者数 (うち会員同士)																			
令和2年度	7,524千円	1,908人	94組	44人(8組)																			
令和3年度	9,461千円	1,984人	95組	44人(7組)																			
令和4年度	9,461千円(見込)	2,118人	58組	21人(4組)																			
総務部長段階査定額	9,711	※令和4年度実績は12月末時点 会員同士の成婚数 累計40組(平成26年度~令和4年12月末)																					
市長段階査定額	9,711	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
区分	本年度予算額	備考欄																					
財源内訳	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>4,856</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,855</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,711</td> </tr> </table>	国・県支出金	4,856	地方債	0	その他	0	一般財源	4,855	計	9,711												
国・県支出金	4,856																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	4,855																						
計	9,711																						

企003	項目名	若者による地方創生政策推進事業費		新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	165	所属名
年度	R5	企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012			
款 総務費	【1次総の施策体系】1405（実施計画関連事業）			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市における地方創生の取組に若者の視点を取り入れていく必要があるため、若者の積極的な市政参加の促進を目的として設置していた若者会議を、平成28年度から若者の視点による地方創生の深化を新たな目的に加え「とっとり若者地方創生会議」として発展させ設置している。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 「とっとり若者地方創生会議」が、本市における地方創生の取組の中心課題である若者の定住やまちのにぎわいづくりについて調査研究するとともに、地方創生の取組に必要な施策、政策を立案・提言することにより、若者の視点による地方創生を図ることができる。			
(単位:千円)	【事業の内容】 とっとり若者地方創生会議を設置し、会議の運営に当たっては公募・推薦による若者（大学生及び専門学生等）を委員とし、政策企画課のサポートにより事業実施に取り組む。最終的に市が取り組む「若者定着を推進する事業」を市に提案し、市は、提案された事業の事業化または既存事業への反映を行う。 ・会議の開催 20回 ・補助金を活用した事業の実施 1回			
前年度当初予算額	551	【事業の実績】		
本年度要求額	677	令和2年度 320千円 会議等19回 イベント企画等3回実施 令和3年度 386千円 会議等17回 本市PR動画作成、ヒアリング調査等 令和4年度(見込) 551千円 会議等15回 アルバイトに関する学生アンケートの実施等		
総務部長段階査定額	677	【事業の内容】		
市長段階査定額	677	とっとり若者地方創生会議を設置し、会議の運営に当たっては公募・推薦による若者（大学生及び専門学生等）を委員とし、政策企画課のサポートにより事業実施に取り組む。最終的に市が取り組む「若者定着を推進する事業」を市に提案し、市は、提案された事業の事業化または既存事業への反映を行う。 ・会議の開催 20回 ・補助金を活用した事業の実施 1回		
区分	本年度予算額	【事業の実績】		
財源内訳	115	令和2年度 320千円 会議等19回 イベント企画等3回実施 令和3年度 386千円 会議等17回 本市PR動画作成、ヒアリング調査等 令和4年度(見込) 551千円 会議等15回 アルバイトに関する学生アンケートの実施等		
国・県支出金	0	【事業の内容】		
地方債	0	とっとり若者地方創生会議を設置し、会議の運営に当たっては公募・推薦による若者（大学生及び専門学生等）を委員とし、政策企画課のサポートにより事業実施に取り組む。最終的に市が取り組む「若者定着を推進する事業」を市に提案し、市は、提案された事業の事業化または既存事業への反映を行う。 ・会議の開催 20回 ・補助金を活用した事業の実施 1回		
その他	0	【事業の実績】		
一般財源	562	令和2年度 320千円 会議等19回 イベント企画等3回実施 令和3年度 386千円 会議等17回 本市PR動画作成、ヒアリング調査等 令和4年度(見込) 551千円 会議等15回 アルバイトに関する学生アンケートの実施等		
計	677	【事業の内容】		
備考欄	【事業の実績】			

企004	項目名	麒麟のまち創生推進事業費		新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	165	所属名
年度	R5	企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】広域連携係 0857-30-8013			
款 総務費	【1次総の施策体系】2204（実施計画関連事業）			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市と岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町の1市6町は、連携中枢都市圏を形成し、人口減少・少子高齢社会にあっても、圏域の持続的発展をめざし、広域連携による取組を進めている。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 麒麟のまち創生戦略会議と連携中枢都市圏ビジョン懇談会による連携中枢都市圏ビジョンの進捗管理を行う。 また、圏域住民の地域愛着度向上を目的として、圏域住民に向けた圏域各市町の相互理解を図るエリアプロモーションに取り組む。			
(単位:千円)	【事業の内容】 ・麒麟のまち創生戦略会議の開催 3回 ・連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催 2回 ・令和5年度連携中枢都市圏協議会の開催 1回 ・エリアプロモーション事業 麒麟のまち×SDGs啓発キャンペーン (2,512千円)			
前年度当初予算額	2,947	【事業の実績】		
本年度要求額	5,008	令和2年度 172千円 3回 2回 令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度(見込) 2,947千円 3回 3回 2,177千円		
総務部長段階査定額	3,897	【事業の内容】		
市長段階査定額	3,897	麒麟のまち創生戦略会議の開催 3回 連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催 2回 令和5年度連携中枢都市圏協議会の開催 1回 エリアプロモーション事業 麒麟のまち×SDGs啓発キャンペーン (2,512千円)		
区分	本年度予算額	【事業の実績】		
財源内訳	1,256	令和2年度 172千円 3回 2回 令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度(見込) 2,947千円 3回 3回 2,177千円		
国・県支出金	0	【事業の内容】		
地方債	0	麒麟のまち創生戦略会議の開催 3回 連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催 2回 令和5年度連携中枢都市圏協議会の開催 1回 エリアプロモーション事業 麒麟のまち×SDGs啓発キャンペーン (2,512千円)		
その他	0	【事業の実績】		
一般財源	2,641	令和2年度 172千円 3回 2回 令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度(見込) 2,947千円 3回 3回 2,177千円		
計	3,897	【事業の内容】		
備考欄	【事業の実績】			

企005	項目名	鳥取・岡山県境連携推進協議会負担金	新規事業
------	-----	-------------------	------

予算書項目	総合企画費	ページ	165
-------	-------	-----	-----

年度	R5
----	----

所属名	企画推進部 政策企画課
-----	----------------

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)

前年度当初予算額	22
----------	----

本年度要求額	22
--------	----

総務部長段階査定額	22	その他財源の内訳
-----------	----	----------

市長段階査定額	22	分担金	0
---------	----	-----	---

区分	本年度予算額	手数料
国・県支出金	0	0
地方債	0	0
その他	0	0
一般財源	22	0
計	22	0

備考欄

事業の概要

【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013

【1次総の施策体系】 2204 (実施計画関連事業)

【事業の経過及び背景】
 昭和44年に本協議会の前身である「鳥取・岡山県境開発促進協議会」が発足し、本市では合併前の用瀬町及び佐治村が加入していた。
 旧協議会は、平成の大合併を前にいったん解散したが、合併が一段落した平成18年に、本市、三朝町、倉吉市、江府町、日野町、日南町、新見市、西粟倉村、美作市、奈義町、津山市、鏡野町、真庭市、新庄村の14市町村により改めて発足し、平成20年に智頭町と若桜町が加入した。

【事業の目的及び効果】
 本協議会は、鳥取・岡山両県の県境に接する16市町村で構成されており、各市町村が連携し、関係機関等に対する要請、関係団体との連絡及び必要な調査研究を行うことにより地元産業の振興と地域開発を促進することを目的としている。
 今後の地方行政を考える上で、県境を越えた広域連携を行うことは非常に重要である。

【事業の内容】
 ○鳥取・岡山県境連携推進協議会への参加
 ・総会、会議等への出席
 ・岡山県・鳥取県両知事への要望

【事業の実績】
 ○会議等の開催 (令和3年度、4年度:鏡野町が会長)
 ・総会《書面開催》(1回)
 ・構成市町村担当課長・担当者会議《書面開催》(1回)
 ○要望活動
 岡山県及び鳥取県へ会長、副会長による要望書の提出

企006	項目名	シティセールス推進事業費	新規事業
------	-----	--------------	------

予算書項目	総合企画費	ページ	165
-------	-------	-----	-----

年度	R5
----	----

所属名	企画推進部 政策企画課
-----	----------------

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)

前年度当初予算額	594
----------	-----

本年度要求額	601
--------	-----

総務部長段階査定額	601	その他財源の内訳
-----------	-----	----------

市長段階査定額	601	分担金	0
---------	-----	-----	---

区分	本年度予算額	手数料
国・県支出金	0	0
地方債	0	0
その他	0	0
一般財源	601	0
計	601	0

備考欄

事業の概要

【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013

【1次総の施策体系】 2203 (実施計画関連事業)

【事業の経過及び背景】
 平成29年度より「鳥取市シティセールス戦略」を策定し、ブランドスローガン「SQのあるまち」に基づく各施策を展開している。

【事業の目的及び効果】
 ブランドスローガン「SQのあるまち」の浸透を図るとともに、「鳥取市シティセールス戦略」に基づく事業を展開し、鳥取市ブランドを確立し、人や企業から選ばれるまち鳥取市の実現をめざす。

【事業の内容】
 ・シティセールス戦略推進会議の開催 2回
 ・SQのあるまち推進職員研修の開催 1回

【事業の実績】
 令和2年度 6,314千円 FMラジオ放送番組の制作・配信ほか (エリアプロモーション事業を含む)
 令和3年度 1,959千円 SQのあるまちテレビ番組制作ほか
 令和4年度 594千円 (見込) シティセールス戦略推進会議の開催
 SQのあるまち推進職員研修の実施

企007	項目名	旧本庁舎跡地にぎわい創出事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	新規事業	○
予算書項目	総合企画費	ページ	165	所 属 名
年度	R5	企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012			
款 総務費	【11次総の施策体系】2402(実施計画関連事業)			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、まちなかのにぎわいが失われつつある中、アフターコロナを見据えたにぎわい創出の取組を進め、地域経済の立て直し、産業の復興・再生につなげる必要がある。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 中心市街地の中間に位置し、二核二軸の都市構造を活かしたまちづくりを進める上で重要な場所である旧本庁舎跡地において、ウォーカブルなまちづくりやまちなかのにぎわい創出に寄与するイベントを実施し広域からの集客性を高めるとともに、中心市街地の他の施設や商店街等と連携し、回遊性を向上させることで、地域活性化を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容】 旧本庁舎跡地にぎわい創出事業(6,050千円) 旧本庁舎跡地(アスファルト駐車場部分)でのイベントを、企画・募集・開催し、にぎわいを創出する。 ・イベント実施回数 10回 ・来場者、出店者へのアンケート調査			
前年度当初予算額	0	分担金 0		
本年度要求額	6,050	負担金 0		
総務部長段階査定額	6,050	使用料 0		
市長段階査定額	6,050	手数料 0		
区分	本年度予算額	財産収入 0		
財源内訳	国・県支出金 4,840	寄付金 0		
	地方債 0	繰入金 0		
	その他 0	雑収入 0		
	一般財源 1,210	その他 0		
	計 6,050			
備考欄				

企008	項目名	環境大学運営費交付金	新規事業	
予算書項目	公立大学法人運営事業費	ページ	167	所 属 名
年度	R5	企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012			
款 総務費	【11次総の施策体系】1102(実施計画関連事業)			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鳥取県とともに共同設置した公立大学法人鳥取環境大学の運営経費の一部に充てるため、鳥取県と共同で大学運営費交付金及び大規模修繕等に係る施設整備費補助金を交付するものである。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 鳥取県とともに、当該大学法人に対し公立大学の運営に係る地方交付税の範囲内で大学運営費交付金及び施設整備費補助金を交付することにより、公立大学法人鳥取環境大学の安定的な運営を確保する。			
(単位:千円)	【事業の内容】 公立大学法人鳥取環境大学の運営に必要な経費の一部について、大学運営費交付金を交付する。また、運営費交付金で措置する運営経費とは別に、緊急かつ大規模な修繕等の経費について、施設整備費補助金を交付する。また、令和2年度から始まった修学支援新制度(高等教育の無償化)について、環境大学の授業料等無償化(減免)にかかる経費を、授業料等減免費交付金(修学支援新制度分)として交付する。 ・運営費交付金の交付 ・施設整備補助金の交付 3件 ・修学支援新制度に係る経費の交付			
前年度当初予算額	533,674	分担金 0		
本年度要求額	554,743	負担金 0		
総務部長段階査定額	554,561	使用料 0		
市長段階査定額	554,561	手数料 0		
区分	本年度予算額	財産収入 0		
財源内訳	国・県支出金 0	寄付金 0		
	地方債 0	繰入金 48,706		
	その他 48,706	雑収入 0		
	一般財源 505,855	その他 0		
	計 554,561			
備考欄	【事業の実績】 [運営費交付金] [施設整備補助金] [授業料等減免費交付金] 令和2年度 454,960千円 47,555千円 29,696千円 令和3年度 454,190千円 36,897千円 34,644千円 令和4年度(見込) 459,892千円 53,750千円 40,919千円			
	※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金			

企009	項目名	旧本庁舎・第二庁舎跡地活用検討事業費		新規事業
予算書項目	旧本庁舎・第二庁舎跡地活用検討事業費	ページ	167	所属名
年度	R5	企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】政策企画課 0857-30-8012			
款 総務費	【1次総の施策体系】2402（実施計画関連事業）			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 企画費	市庁舎機能移転後の旧本庁舎・第二庁舎跡地活用に関しては、これまで市議会「本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会」、学識経験者で構成する「旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会」においてそれぞれ検討を行い、令和3年度に一定の方向性を決定し、令和4年度には基本設計を実施する。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	232	旧本庁舎・第二庁舎跡地の活用に向け測量業務・実施設計を行う。		
本年度要求額	34,133	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	34,133	旧本庁舎・第二庁舎跡地に係る測量業務・実施設計		
市長段階査定額	34,133	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和2年度 7,521千円		
財源内訳		令和3年度 6,636千円		
国・県支出金	0	令和4年度 17,493千円（見込）		
地方債	34,100			
その他	0			
一般財源	33			
計	34,133			
備考欄				

企010	項目名	鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費		新規事業
予算書項目	高等教育機関在学学生支援事業費	ページ	167	所属名
年度	R5	企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012			
款 総務費	【1次総の施策体系】2201（実施計画関連事業）			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 企画費	市内に居住していても市内企業や圏域のまちの魅力を知らないまま過ごす学生や、市外・県外から各学校に入学し、一度は市内で暮らしたものの卒業後は自分の地元で就職することを決めている学生にも、麒麟のまち圏域の魅力を知ってもらう必要がある。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	0	本市及び麒麟のまち圏域の企業及び観光地等の魅力を各学校が積極的に学生に発信することで、仕事&自然の中での暮らし&遊びを一体的に満喫できる魅力的なまちであることを認識してもらい、若者の定住につなげる。		
本年度要求額	6,000	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	6,000	・麒麟のまち圏域内の企業等の魅力発見につながる事業への補助		
市長段階査定額	6,000	・麒麟のまち圏域内の地域資源や観光名所等の魅力発見につながる教育活動への補助		
区分	本年度予算額	※いずれも大学及び専門学校を補助対象とする。		
財源内訳		※上限額：大学1,500千円（2校）、専門学校600千円（5校）、補助率1/2		
国・県支出金	3,000	【事業の実績】		
地方債	0	令和4年度（6月補正） 1,934千円（見込）		
その他	0	・麒麟のまち圏域の魅力発見につながる事業：1件		
一般財源	3,000	・麒麟のまち圏域内の就職促進及び魅力発見につながる事業：2件		
計	6,000			
備考欄				

企011	項目名	市政広報費	新規事業
予算書項目	市政広報費	ページ	161
年度	R5	所 属 名	企画推進部 秘書課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】広報室 0857-30-8008		
款 総務費	【11次総の施策体系】2203（実施計画関連事業）		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市民が行政情報を容易に取得できるように、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ等様々なメディアやSNS等を活用し、多様なニーズに対応した情報提供を行う。		
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 さまざまな広報媒体の持つ特性を生かしながら、市政情報を市民に届けていくことは、本市の広報戦略上重要な課題であり、主に市内のメディアやSNS等を活用して効果的な情報発信・情報提供を行っていくことで市政情報の市民への浸透を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	53,945	(1) ケーブルテレビ・・・行政情報番組：毎週金・土曜日に30分番組 延べ20回×年50本、その他企画番組	
本年度要求額	68,975	(2) 新聞等・・・記事下広告等に市政情報を掲載、市長対談記事を年1回掲載	
総務部長段階査定額	56,376	(3) テレビ・・・スポットCM及び企画番組	
市長段階査定額	56,376	(4) ラジオ・・・FM鳥取の番組委託（市政広報番組、イベント情報番組など）	
区分	本年度予算額	(5) 鳥取駅前地下道広告枠・・・市政情報や一般広告を掲出	
財源内訳	0	(6) SNS・・・LINE、YouTube等を活用した市政関連情報の提供	
国・県支出金	0	【事業の実績】	
地方債	0	令和2年度 54,841千円	
その他	243	令和3年度 54,448千円	
一般財源	56,133	令和4年度 54,225千円（見込）	
計	56,376	※その他財源の諸収入は、広告料収入	
備考欄			

企012	項目名	鳥取市知名度アップ大作戦事業費	新規事業
予算書項目	市政広報費	ページ	161
年度	R5	所 属 名	企画推進部 秘書課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】広報室 0857-30-8008		
款 総務費	【11次総の施策体系】2203（実施計画関連事業）		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口減少や地方分権の流れから地域間競争が激化することを見据え、平成20年度から知名度アップ事業を実施。「すごい！鳥取市」に続き、「#鳥取家族」をキャッチコピーとするシティプロモーション戦略を展開し、全国的な認知度の向上に取り組んでいる。		
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 本市の全国的な知名度・認知度の向上により、観光入込客数や移住定住者の増加を図るとともに、本市に在住する市民自身も、自信と誇りを持てる市民愛着度の向上につなげていくことで、住む人・来る人に愛され続ける鳥取市の実現を推進する。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	17,755	シティプロモーション「#鳥取家族」では、市民が主役のプロモーションを展開し、本市ならではの魅力を全国に向けて発信することで、「住みたい田舎ランキング」で常に上位に位置する本市のイメージ定着を図ってきた。今後も、コロナ禍による価値観や行動様式の変化を的確に捉えながら、本市で暮らすことの意義を効果的にPRし、全国的な認知度を獲得することで関係人口や定住人口の増加、市民愛着度の向上につなげる。	
本年度要求額	28,613	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	17,745	令和2年度 17,740千円	
市長段階査定額	17,745	令和3年度 17,561千円	
区分	本年度予算額	令和4年度 17,755千円（見込）	
財源内訳	0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	17,745		
一般財源	0		
計	17,745		
備考欄			

企013	項目名	国際交流費	新規事業
予算書項目	国際交流促進費	ページ	167
年度	R5	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022		
款 総務費	【11次総の施策体系】2205（実施計画関連事業）		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 姉妹都市である韓国・清州市やドイツ・ハーナウ市、交流都市である中国・延辺朝鮮族自治州、本市に縁のあるブラジル鳥取県人会などの国際交流を推進している。これまでに培われた関係性を基盤としつつ、経済をはじめとする幅広い分野において交流の拡大・深化を図る必要がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 官民が連携しつつ、姉妹都市や交流都市などとの交流を推進することにより、市民の国際意識の高揚、相互理解の増進、関係・交流人口の拡大を図るとともに、外国人住民支援団体などとの連携を深めることにより、多文化共生のまちづくりの推進を図ることで、地域の活性化につなげる。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) 国際姉妹・交流都市などとの連絡調整、交流事業の実施 (2) 外国人住民支援団体などとの連携、多文化共生に関する職員研修など		
前年度当初予算額	1,155	【事業の実績】 令和4年度 ○交流事業 ・ハーナウ市とのオンライン交流会の実施 ・ブラジル鳥取県人会70周年記念式典へのビデオメッセージ送付 ○外国人住民支援など ・やさしい日本語ポータルサイトの構築	
本年度要求額	1,386		
総務部長段階査定額	1,182	【事業の内訳】	
市長段階査定額	1,182	令和4年度	
		○交流事業	
		・ハーナウ市とのオンライン交流会の実施	
		・ブラジル鳥取県人会70周年記念式典へのビデオメッセージ送付	
		○外国人住民支援など	
		・やさしい日本語ポータルサイトの構築	
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,182		
計	1,182		
備考欄			

企014	項目名	ウクライナ避難民受入支援事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	新規事業
予算書項目	国際交流促進費	ページ	167
年度	R5	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022		
款 総務費	【11次総の施策体系】2205		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 ロシアの侵攻により、ウクライナから避難された方々の受入に関し、県が新たな支援制度を構築したことを踏まえ、多文化共生のまちづくりを進める本市としても、受入に関して積極的に対応していくことが必要となっている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 県と協調し、ウクライナから本市に避難された方々に対する生活支援などに取り組むことにより、本市での避難生活における安全・安心や利便性を確保することで、避難された方々との相互理解や交流の促進、ウクライナとの友好・信頼関係の発展に寄与する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ○生活支援・生活物資の確保 ・住宅支援(市営住宅の確保) ・生活支援金の支給 賃貸住宅(公営住宅等)の場合 世帯30万円、単身者15万円 親類・知人宅等の場合 世帯20万円、単身者10万円 ○生活全般に係る手続き等の支援 ・住民登録に係る手続き・通訳支援、健康相談支援など ○日本語学習支援 ・にほんごボランティア派遣、にほんごカフェの実施など		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和4年度 15万円(単身者1名)	
本年度要求額	300		
総務部長段階査定額	300		
市長段階査定額	300		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	240		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	60		
計	300		
備考欄			

企015	項目名	国内都市交流総合推進費		新規事業
予算書項目	国内交流推進費	ページ	167	所属名
年度	R5	企画推進部 文化交流課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022			
款 総務費	【11次総の施策体系】2205(実施計画関連事業)			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 姉妹都市である北海道釧路市、兵庫県姫路市、山口県岩国市、福島県郡山市、歴史的なつながりや共通するテーマなどがある他都市、各地域の県人会などの交流を推進している。これまでに培われた関係性を基盤としつつ、経済をはじめとする幅広い分野において交流の拡大・深化を図る必要がある。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 官民が連携しつつ、姉妹都市などとの交流を促進することにより、相互理解の増進、関係・交流人口の拡大を図ることで、地域の活性化につなげる。			
(単位:千円)	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。			
前年度当初予算額	2,033	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業の実施(相互訪問など) ・郡山市との和紙交流の実施 ・本市施設の入館料減免キャンペーン(釧路・姫路市民向け) ・各県人会総会参加 		
本年度要求額	5,578	【事業の実績】 令和2年度 郡山市との和紙交流 令和3年度 各県人会総会参加、郡山市との和紙交流、第5回全国吉川交流会 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流		
総務部長段階査定額	5,181	【その他財源の内訳】		
市長段階査定額	5,181	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	5,181			
計	5,181			
備考欄				

企016	項目名	文化振興費		新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	277	所属名
年度	R5	企画推進部 文化交流課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021			
款 教育費	【11次総の施策体系】2301(実施計画関連事業)			
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 少子・高齢化の進行などにより、文化芸術団体の構成員や伝統文化の保存団体が減少している。地域の文化芸術活動の持続・発展のため、活動者に対する支援や新たな担い手を発掘・育成していく必要がある。			
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 文化芸術団体などの活動に対する支援を行うとともに、青少年に優れた芸術を鑑賞する機会を提供することにより、豊かな人間性の育成や将来の文化芸術の担い手の育成を図ることで、本市の文化芸術の持続・発展につなげる。			
(単位:千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	7,715	○児童生徒を対象とした文化芸術事業 芸術鑑賞教室、青少年劇場巡回公演など		
本年度要求額	7,667	○次世代育成の推進 若年層を対象とした文化芸術事業の実施(0歳児からのコンサート、中学生吹奏楽クリニック等)		
総務部長段階査定額	7,667	○文化団体の育成 ①鳥取市文化団体協議会などの活動に要する経費の補助 ②鳥取市文化団体協議会所属団体などの文化施設使用料減免に係る補填		
市長段階査定額	7,667	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	5,182	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	980			
地方債	0			
その他	5,182			
一般財源	1,505			
計	7,667			
備考欄	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金			

企017	項目名	文化芸術推進事業補助金		新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	277	所 属 名
年度	R5	企画推進部 文化交流課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021 【1次総の施策体系】2301（実施計画関連事業）			
款 教育費	【事業の経過及び背景】 本市では、さまざまな分野の文化芸術団体や伝統文化の保存団体などが活動を行っている。地域の文化芸術活動の持続・発展に向けて、これら市民主体の活動を促進していく必要がある。			
項 社会教育費	【事業の目的及び効果】 市民による文化芸術に関する活動や、伝統文化の保存活動に対する支援を行うことにより、地域の文化芸術活動の持続・発展につなげる。			
目 文化振興費	【事業の内容】 (1) 童謡唱歌100曲マラソン 地元音楽団体による童謡・唱歌の歌唱リレー (2) 日本のふるさと音楽祭 ゲストと地元音楽団体の共演による「童謡・唱歌のまち鳥取」の発信 (3) 文化芸術推進事業補助金 文化芸術団体が実施する文化芸術に関する事業に必要な経費の補助 ・市民文化祭開催補助 ・伝統・郷土芸能団体備品整備補助 ・国民文化祭参加補助 など			
(単位:千円)	【事業の実績】 ・補助件数 令和2年度 13件 令和3年度 12件 令和4年度 14件（見込）			
前年度当初予算額	8,395	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、日本のふるさと音楽祭収入		
本年度要求額	9,990			
総務部長段階査定額	9,790	その他財源の内訳		
市長段階査定額	9,790	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	5,000	
		諸収入	200	
		その他	0	
区 分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	2,106			
地方債	0			
その他	5,200			
一般財源	2,484			
計	9,790			
備考欄				

企018	項目名	文化芸術のまちづくり推進事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)		新規事業	○
予算書項目	文化振興費	ページ	277	所 属 名	
年度	R5	企画推進部 文化交流課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021 【1次総の施策体系】5696				
款 教育費	【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルス感染症による影響を乗り越え、「文化芸術の薫りあふれるまち 鳥取市」を実現するべく、普及啓発や次世代育成などの取組を積極的に推進していくことが必要となっている。				
項 社会教育費	【事業の目的及び効果】 文化芸術団体などと連携し、文化芸術に関する情報発信や、地元芸術家の活用に対する支援、民間ギャラリーでの展示に対する支援などを行うことにより、地域の文化芸術活動の持続・発展と、地域で文化芸術活動を応援する機運の醸成を図る。				
目 文化振興費	【事業の内容】 (1) 地元芸術家派遣事業 鳥取市芸術家バンク登録芸術家を小・中学校へ派遣する。 (公演・ワークショップ・成果発表) (2) 文化芸術の普及啓発 市内で活動する文化芸術団体等の活動を、ラジオ放送やインターネット動画等で発信する。 (3) 地元芸術家活用支援事業 本市にゆかりのある芸術家を活用した事業を実施する市内の団体などに対し、実施に要する経費を補助する。 (4) 民間ギャラリー活用支援事業 本市で活動する芸術家（作家）に対し、民間のギャラリーでの展示に要する経費を補助する。 (5) 若手芸術家育成拠点整備事業 ※新規 若手作家の創作・展示・販売・交流などの活動拠点整備に要する経費を補助する。				
(単位:千円)					
前年度当初予算額	0				
本年度要求額	7,843				
総務部長段階査定額	7,843	その他財源の内訳			
市長段階査定額	7,843	分担金	0		
		負担金	0		
		使用料	0		
		手数料	0		
		財産収入	0		
		寄付金	0		
		繰入金	0		
		諸収入	0		
		その他	0		
区 分	本年度予算額				
財源内訳					
国・県支出金	6,274				
地方債	0				
その他	0				
一般財源	1,569				
計	7,843				
備考欄					

企019	項目名	舞台芸術X地域活性化事業費	新規事業	○
------	-----	---------------	------	---

予算書項目	文化振興費	ページ	277
-------	-------	-----	-----

所 属 名	企画推進部 文化交流課
-------	----------------

年度	R5
----	----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

(単位:千円)

前年度当初予算額	0
----------	---

本年度要求額	56,225
--------	--------

総務部長段階査定額	51,900	その他財源の内訳
-----------	--------	----------

市長段階査定額	51,900	分担金	0
---------	--------	-----	---

区分	本年度予算額	分担金	負担金	使用料	手数料	財産収入	寄付金	繰入金	贈収入	その他
財源内訳										
国・県支出金	25,950									
地方債	0									
その他	0									
一般財源	25,950									
計	51,900									

備 考 欄

事業の概要

【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021

【1次総の施策体系】2301

【事業の経過及び背景】

NPO法人「鳥の劇場」は、市から旧鹿野小学校舎等を借り受け、演劇公演を中心に多彩なプログラムを提供する「鳥の演劇祭」を毎年開催するなど、本市の文化芸術の振興、国内外への発信、鹿野地域の賑わい創出などに寄与している。本市は、鳥の劇場、鳥取県、地域住民などと連携し、「鳥の劇場」の舞台芸術を核とした地域の活性化に向けた取組を推進している。

【事業の目的及び効果】

「鳥の劇場」の「舞台芸術」を生かした人材育成、交流促進、産業振興、賑わい創出などの取組を一体的に推進することにより、劇場を中心とした地域一帯を、多様な人々が「出会い」、「集い」、「学び」、「つながる」交流拠点エリアとして確立していくことで、文化芸術の振興、産業の振興、交流・関係・定住人口の増加などによる地域の活性化をめざす。

【事業の内容】

(1) 文化交流拠点施設整備事業 【補助金：46,019千円】

- ①新バックヤード等設計
- ②旧鹿野幼稚園舎改修
- ③旧鹿野小学校舎解体撤去

(2) 舞台芸術×人材育成モデル事業【委託料：4,881千円】

- ①演劇塾開催事業
- ②市民演劇講座開催事業
- ③小・中学生劇場空間体験事業
- ④企業研修トライアル事業

(3) 舞台芸術×賑わい創出モデル事業【補助金：1,000千円】

鳥の劇場及び周辺を会場とする「鳥の演劇祭」の開催に対する支援を実施する。

企020	項目名	麒麟のまち鳥取市美術展開催費	新規事業	
------	-----	----------------	------	--

予算書項目	麒麟のまち鳥取市美術展開催費	ページ	277
-------	----------------	-----	-----

所 属 名	企画推進部 文化交流課
-------	----------------

年度	R5
----	----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

(単位:千円)

前年度当初予算額	3,631
----------	-------

本年度要求額	4,301
--------	-------

総務部長段階査定額	3,706	その他財源の内訳
-----------	-------	----------

市長段階査定額	3,706	分担金	0
---------	-------	-----	---

区分	本年度予算額	分担金	負担金	使用料	手数料	財産収入	寄付金	繰入金	贈収入	その他
財源内訳										
国・県支出金	633									
地方債	0									
その他	540									
一般財源	2,533								540	
計	3,706									0

備 考 欄

事業の概要

【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021

【1次総の施策体系】2301 (実施計画関連事業)

【事業の経過及び背景】

市民に文化芸術を身近に感じていただく機会として、1962年(昭和37年)より毎年美術展を開催している。本市の文化芸術の持続・発展に向けて、実施内容などを随時検討しつつ、今後も継続していく必要がある。

【事業の目的及び効果】

市民が芸術作品を制作・鑑賞する機会を提供することにより、市民の創作意欲や文化芸術に対する意識の高揚を図ることで、本市の文化芸術の持続・発展につなげる。

【事業の内容】

- (1) 委託先 麒麟のまち鳥取市美術展運営委員会
- (2) 部 門 日本画、洋画、書道、工芸、版画、彫刻、写真、デザイン、自由
- (3) 会 場 鳥取県立博物館
- (4) 会 期 令和5年5月28日～6月4日
- (5) 出品資格 中学生以上で、麒麟のまち圏域(鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町)在住または本市に通勤・通学している人

【事業の実績】

[鑑賞者数]
令和元年度 2,477人
令和2年度 新型コロナウイルスの影響により中止
令和3年度(60回記念) 2,172人(特別展示:やまびこ館4,539人)
令和4年度 2,020人(受賞作展示:やまびこ館1,168人)

※その他財源の諸収入は、市民美術展収入

企021	項目名	市民会館施設管理費	新規事業
予算書項目	施設管理費	ページ	279
年度	R5	所 属 名 企画推進部 文化交流課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【11次総の施策体系】2301（実施計画関連事業）		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 1967年（昭和42年）から鳥取市民会館の運営を行っており、市民の文化芸術活動の拠点の一つとなっている。2010年（平成22年）に耐震改修などを実施したものの、老朽化が進行していることから、適正な維持管理と併せて今後の方向性を検討する必要がある。		
目 市民会館管理費	【事業の目的及び効果】 市民の文化芸術活動などの拠点の一つとして市民会館の適正な管理運営を行うことにより、施設の機能維持を図ることで、利用者の安全・安心や利便性の確保につなげる。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・指定管理者（一般財団法人鳥取市教育福祉振興会）による管理運営 （期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日） ・舞台吊物機構（ワイヤーロープ等）更新、非常用蓄電池取替修繕		
前年度当初予算額	42,180	【事業の実績】	
本年度要求額	65,664	[利用者数] 令和2年度 36,456人 令和3年度 28,802人 令和4年度 33,000人（見込）	
総務部長段階査定額	63,617	※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金	
市長段階査定額	63,617	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	[利用者数]	
財源内訳	0	令和2年度 36,456人	
国・県支出金	0	令和3年度 28,802人	
地方債	0	令和4年度 33,000人（見込）	
その他	19,458		
一般財源	44,159		
計	63,617		
備考欄			

企022	項目名	国際交流プラザ管理運営費	新規事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	167
年度	R5	所 属 名 企画推進部 文化交流課 国際交流プラザ	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253		
款 総務費	【11次総の施策体系】1404（実施計画関連事業）		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 日本人住民と外国人住民の相互理解や国際交流を促進するため、1997年（平成9年）から国際交流プラザの運営を行っている。本市の多文化共生のまちづくりを推進するうえで、今後も中心的な役割を担うことが期待されている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 本市における国際交流・多文化共生の推進の拠点として当該施設を運営することにより、市民の国際意識の高揚、相互理解の増進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。		
(単位:千円)	【事業の内容】 英語および中国語担当職員を配置し、外国人住民向けの情報発信や相談業務、国際理解講座などを実施する。 ・中国語及び英語担当職員の配置による相談対応 ・国際理解講座の運営 ・市報の翻訳やリサイクル生活用品の提供など		
前年度当初予算額	6,417	【事業の実績】	
本年度要求額	6,424	[利用件数] [利用者数] 令和2年度 1,045件 8,795名 令和3年度 1,329件 12,495名 令和4年度 1,300件（見込） 14,000名（見込）	
総務部長段階査定額	6,424	【事業の実績】	
市長段階査定額	6,424	[利用件数] [利用者数] 令和2年度 1,045件 8,795名 令和3年度 1,329件 12,495名 令和4年度 1,300件（見込） 14,000名（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	0	[利用件数] [利用者数] 令和2年度 1,045件 8,795名 令和3年度 1,329件 12,495名 令和4年度 1,300件（見込） 14,000名（見込）	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	6,424		
計	6,424		
備考欄			

企023	項目名	在住外国人支援事業費	新規事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	167
年度	R5	所 属 名	企画推進部 文化交流課 国際交流プラザ
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253		
款 総務費	【11次総の施策体系】1404（実施計画関連事業）		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 「世界に開かれた交流都市鳥取」の理念のもと、国際交流の推進、国際感覚豊かな人づくりや多文化共生のまちづくりに取り組んでいる。日本人住民も外国人住民も多文化共生の意義を理解し、互いに安心・安全に暮らしていくため、地域における共生意識の醸成に向けた取組が求められている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 外国人住民の日本語習得に対する支援や交流機会を創出することにより、外国人住民の日本社会に対する理解の推進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) 日本語ボランティアの登録促進、日本語ボランティア講習会の開催など (2) 外国人住民を含めた市民が交流する談話会「にほんごカフェ」の開催		
前年度当初予算額	91	【事業の実績】	
本年度要求額	91	令和2年度 日本語ボランティア活動者 45名 講習会(1回) 参加人数 7名 にほんごカフェ(3回) 31名	
総務部長段階査定額	91	令和3年度 日本語ボランティア活動者 48名 講習会 新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止 にほんごカフェ(4回) 29名	
市長段階査定額	91	令和4年度 日本語ボランティア活動者 45名 (見込) 講習会(1回) 参加人数 6名 にほんごカフェ(7回) 64名	
その他財源の内訳	【事業の実績】		
分担金	0	令和2年度 日本語ボランティア活動者 45名 講習会(1回) 参加人数 7名 にほんごカフェ(3回) 31名	
負担金	0	令和3年度 日本語ボランティア活動者 48名 講習会 新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止 にほんごカフェ(4回) 29名	
使用料	0	令和4年度 日本語ボランティア活動者 45名 (見込) 講習会(1回) 参加人数 6名 にほんごカフェ(7回) 64名	
手数料	0	【事業の実績】	
財産収入	0	令和2年度 日本語ボランティア活動者 45名 講習会(1回) 参加人数 7名 にほんごカフェ(3回) 31名	
寄付金	0	令和3年度 日本語ボランティア活動者 48名 講習会 新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止 にほんごカフェ(4回) 29名	
繰入金	0	令和4年度 日本語ボランティア活動者 45名 (見込) 講習会(1回) 参加人数 6名 にほんごカフェ(7回) 64名	
贈収金	0	【事業の実績】	
贈収金	0	令和2年度 日本語ボランティア活動者 45名 講習会(1回) 参加人数 7名 にほんごカフェ(3回) 31名	
その他	0	令和3年度 日本語ボランティア活動者 48名 講習会 新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止 にほんごカフェ(4回) 29名	
計	91	令和4年度 日本語ボランティア活動者 45名 (見込) 講習会(1回) 参加人数 6名 にほんごカフェ(7回) 64名	
備考欄			

企024	項目名	市民国際理解推進事業費	新規事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	167
年度	R5	所 属 名	企画推進部 文化交流課 国際交流プラザ
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253		
款 総務費	【11次総の施策体系】1404（実施計画関連事業）		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 「世界に開かれた交流都市鳥取」の理念のもと、国際交流の推進、国際感覚豊かな人づくりや多文化共生のまちづくりに取り組んでいる。日本人住民も外国人住民も多文化共生の意義を理解し、互いに安心・安全に暮らしていくため、地域における共生意識の醸成に向けた取組が求められている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 市民が外国の言語や生活文化・習慣などについて学ぶ機会を創出することにより、国際意識の高揚や外国人住民に対する理解の推進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) 国際理解講座（料理教室、講演会、展示会など）、多文化交流フェスタの開催など (2) 外国語講座（韓国語、ドイツ語、中国語、小学生向け英語など）の開催		
前年度当初予算額	312	【事業の実績】	
本年度要求額	312	令和2年度 国際理解講座参加人数 100名 令和3年度 159名 令和4年度 300名（見込）	
総務部長段階査定額	312	令和2年度 35名 令和3年度 34名 令和4年度 35名（見込）	
市長段階査定額	312	【事業の実績】	
分担金	0	令和2年度 国際理解講座参加人数 100名 令和3年度 159名 令和4年度 300名（見込）	
負担金	0	令和2年度 35名 令和3年度 34名 令和4年度 35名（見込）	
使用料	0	【事業の実績】	
手数料	0	令和2年度 国際理解講座参加人数 100名 令和3年度 159名 令和4年度 300名（見込）	
財産収入	0	令和2年度 35名 令和3年度 34名 令和4年度 35名（見込）	
寄付金	0	【事業の実績】	
繰入金	0	令和2年度 国際理解講座参加人数 100名 令和3年度 159名 令和4年度 300名（見込）	
贈収金	0	令和2年度 35名 令和3年度 34名 令和4年度 35名（見込）	
その他	0	【事業の実績】	
計	312	令和2年度 国際理解講座参加人数 100名 令和3年度 159名 令和4年度 300名（見込）	
備考欄			

企025	項目名	地域情報化推進費	新規事業
予算書項目	地域情報化推進費	ページ	165
年度	R5	所 属 名	企画推進部 情報政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026 【1次総の施策体系】2405（実施計画関連事業） 【事業の経過及び背景】 地域情報化推進のため、通信ネットワーク、携帯電話、コミュニティFMなどの情報通信基盤および行政サービスを提供してきた。 【事業の目的及び効果】 地域情報化推進のため、情報化に関する情報収集を行うとともに、総合行政ネットワーク、鳥取情報ハイウェイ市町村アクセス網、地域イントラネット、公衆無線LAN、携帯電話用鉄塔等の各種情報通信基盤及び情報提供システムの適切な管理を行う。 ・市民、地域とのコミュニケーションの促進 ・小・中学校における快適な情報教育環境の実現 ・ICTを活用した各種行政サービスの提供による市民の利便性の向上 ・携帯電話鉄塔・伝送路の維持管理 ・コミュニティFM中継局の維持管理 【事業の内容】 （1）地域イントラネット（学校、公民館等拠点接続） ・公共施設、地区公民館等の高速インターネット環境・公衆無線LAN環境整備 ・「地域ふれあいサイト」（地区ホームページの運用） ・コミュニティスタジオの管理 ・小・中学校の高速インターネット環境整備 （2）施設予約システムの管理 （3）電柱共架料（イントラネット関係、総合行政ネットワーク関係） （4）携帯電話用鉄塔・伝送路の借地維持管理 【事業の実績】 令和2年度 18,272千円 令和3年度 21,414千円 令和4年度 23,920千円（見込）		
目	総務費	※その他財源の諸収入は、携帯電話会社等からの携帯電話伝送路使用料	
目	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	23,920		
本年度要求額	34,740		
総務部長段階査定額	28,479	その他財源の内訳	
市長段階査定額	28,479	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	796
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	796		
一般財源	27,683		
計	28,479		
備考欄			

企026	項目名	超高速情報通信基盤整備事業費	新規事業
予算書項目	有線テレビジョン放送施設管理費	ページ	167
年度	R5	所 属 名	企画推進部 情報政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026 【1次総の施策体系】2405（実施計画実施事業） 【事業の経過及び背景】 市民生活に必要な不可欠な社会基盤の一つとして、近年の情報化社会におけるICT利活用のため超高速情報通信網が必要となるが、整備の遅れている地域があるため、格差是正に向けた取組が求められている。 令和2～4年度にかけて、CATV公設民営エリアの中の光化未整備地域における、伝送路設備の光ファイバ化、局舎内機器整備、宅内の通信及び放送設備の切替を進めてきた。 ・R2.7月補正【通信のみ】 明治地区、国府町（東部）、福部町、河原町（神馬地域）、用瀬町、佐治町、気高町（南部）、鹿野町、青谷町（南部） ・R3.6月補正【通信のみ】：青谷町（北部） ・R4.1月補正【通信及び放送】：気高町（北部） ・R4当初【放送】：福部町、用瀬町、佐治町、気高町（南部）、鹿野町、青谷町 ・R5.2月補正【放送】：国府町、河原町 【通信】：国府町（西部）、河原町（神馬以外） 【事業の目的及び効果】 本市が所有する有線テレビジョン放送施設の耐災害性強化、老朽化及び高速化対応のため、有線テレビジョン放送施設のFTTH化を行う。また、有線テレビジョン放送網のFTTH化に伴うICT利活用の推進。 【事業の内容】 令和2年度から4年度にFTTH化したエリアの宅内への通信及び放送設備の切替。 【事業の実績】 令和2年度（令和3年度繰越分）【明治地区ほか】 1,651,326千円 令和3年度【青谷町北部】 124,908千円 令和3年度（令和4年度繰越分）【気高町北部】 975,102千円（見込） 令和4年度 局舎内放送機器整備（国府・河原除く） 475,528千円（見込）		
目	総務費		
目	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
前年度当初予算額	475,528		
本年度要求額	1,429,063		
総務部長段階査定額	198,055	その他財源の内訳	
市長段階査定額	198,055	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	184,200		
その他	0		
一般財源	13,855		
計	198,055		
備考欄			

企027	項目名	鳥取県自治体ICT共同化推進協議会事業費	新規事業
予算書項目	電算事務費	ページ	171
年度	R5	所 属 名	企画推進部 情報政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026		
款 総務費	【1次総の施策体系】2405（実施計画関連事業）		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 電算処理費	名称：鳥取県自治体ICT共同化推進協議会		
	会員の構成：鳥取県、鳥取県内市町村		
	・鳥取県自治体ICT共同化推進協議会会則（平成27年5月12日施行）		
	・鳥取県自治体ICT共同化推進協議会広域連携協約（平成28年4月1日締結）		
	・本市と鳥取県との間の地方公共団体における情報通信技術の共同化に関する事務の委託に関する規約（平成29年4月1日施行）		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	12,376	会員が相互に連携・共同した取組により、人口減少社会に対応する行政体制の維持、事務の効率化を目指し、業務や情報システムの標準化、共同化による経費削減のほか、情報システム運用上の安全性の確保、人材育成等に資することを目的とする。	
本年度要求額	11,833	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	11,833	(1) 全会員または特定の会員が共同で取り組む情報システムの整備及び運用等に関すること	
市長段階査定額	11,833	(2) 情報セキュリティに係る脅威に対する適切な対策に関すること	
		(3) 行政職員におけるICT分野の人材育成に関すること	
		(4) その他協議会の目的達成に必要な事業	
		①行政イントラシステム（協議会調達）	
		利用期間：（第2期）令和4年12月～令和9年11月	
		②電子申請・届出システム（協議会調達）	
		利用期間：（第2期）令和5年4月～令和10年3月	
		③（鳥取・岡山）自治体セキュリティクラウド（鳥取県調達）	
		利用期間：（第2期）令和4年4月～令和9年3月	
		④インターネット回線の共同調達（鳥取県調達）利用期間：③と同じ	
		【事業の実績】	
		令和2年度 12,419千円	
		令和3年度 12,444千円	
		令和4年度 11,496千円（見込）	
備考欄			

企028	項目名	自治体行政スマート事業推進費	新規事業
予算書項目	情報通信技術利活用促進事業費	ページ	171
年度	R5	所 属 名	企画推進部 情報政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026		
款 総務費	【1次総の施策体系】2405		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 電算処理費	多様化する市民サービスと行政DXの推進のため、ICT技術を利用した次世代情報システムの導入に向けた調査・検討を進めてきた。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	28,109	次世代情報システムの利用及び行政手続きをオンライン化することで、事務の省力化・効率化と市民サービスの向上を図る。	
本年度要求額	40,907	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	38,717	(1) RPAツールの活用	
市長段階査定額	38,717	職員の育成及び、各課業務のRPAシナリオの増加による効率化の推進	
		(2) AI議事録ツールの活用	
		議事録作成に伴う時間及び負荷を軽減、正確性の向上	
		(3) 行政手続のオンライン化	
		マイナポータル経由で受付した電子申請情報を住民情報システムへの連携	
		(4) 自治体情報システム標準化	
		令和7年度末の円滑なシステム移行に向けた、文字情報、仕様書の調査	
		【事業の実績】	
		令和3年度 4,589千円	
		令和4年度 28,109千円（見込）	
備考欄			